

21st 三遠南信サミット 2013in南信州

新しい連携体制の実現に向けて
～三遠南信連携の発展と越境連携地域交流～



資料集

第21回 三遠南信サミット
2013in南信州

平成25年10月30日(水)

会場 飯田文化会館
シルクホテル

目 次

1 分 科 会

(1)「道」分科会	1
① 三遠南信自動車道の整備効果とリニア時代の地域づくり	2
② 「道」重点プロジェクト	9
(2)「技」分科会	13
① 広域連携による新たな産業の創出と人材育成の取り組みについて	14
② 「技」重点プロジェクト	22
(3)「風土」分科会	25
① ゆべしづくりから三遠南信交流へ	26
② 「風土」重点プロジェクト	33
(4)「山・住」合同分科会	35
① 新たな地域社会の持続性を考える	36
② 「山」重点プロジェクト	43
③ 「住」重点プロジェクト	44

2 参考資料

(1) 三遠南信地域連携ビジョン概要版	45
(2) 三遠南信エリアマップ	52



分科会

資 料

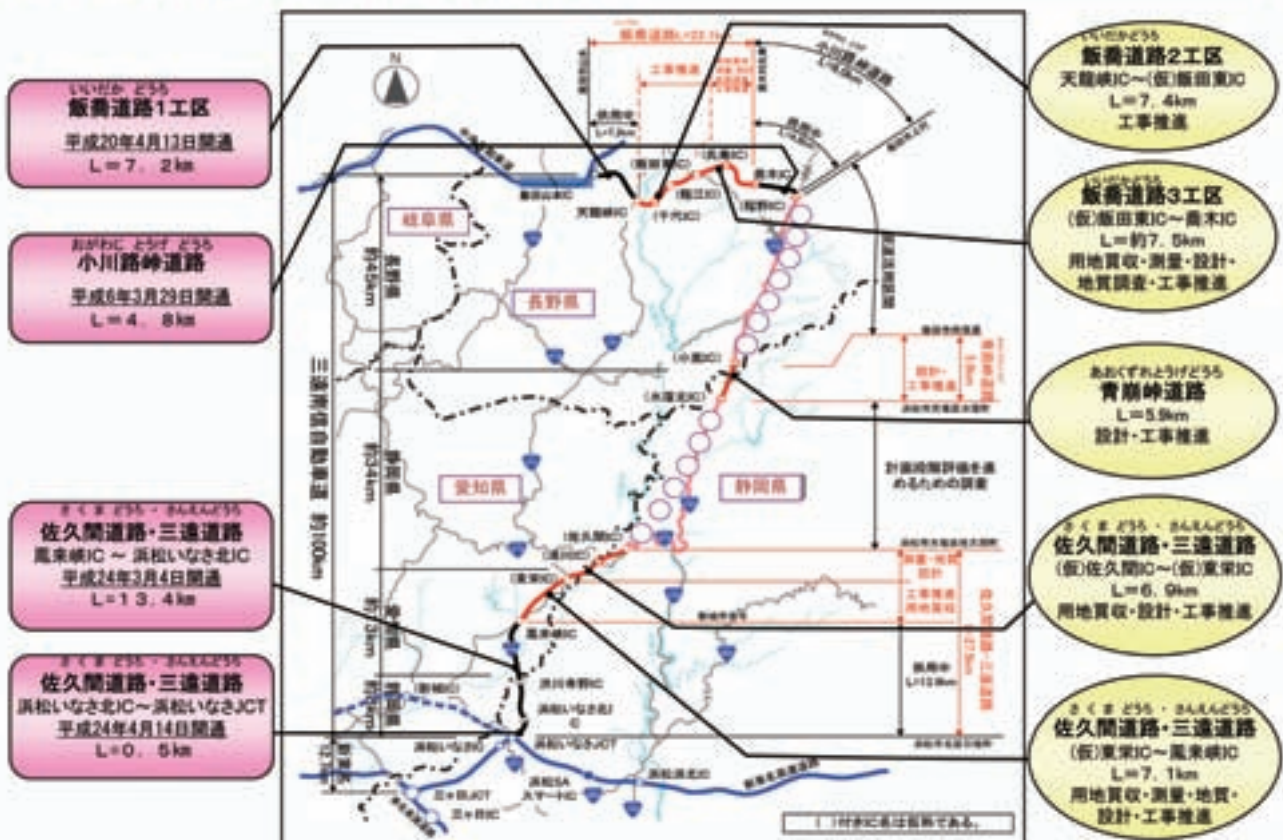
三遠南信自動車道の整備効果と リニア時代の地域づくり

平成25年10月30日

国土交通省中部地方整備局
飯田国道事務所
事務所長 花木 道治

1

三遠南信自動車道全体の事業進捗状況



2

飯橋道路の事業進捗状況

- ・天龍峡IC～龍江IC(仮称)間について、道路建設工事や川路地区から龍江地区の橋梁上部工事を推進します。
- ・龍江IC～飯田東ICにおいて、道路建設工事や橋梁上下部工、埋蔵文化財調査等を実施します。
- ・飯田東IC～喬木IC間において、調査設計を推進するとともに、一部区間で道路建設工事や橋梁下部工を実施します。



青崩峠道路の事業進捗状況

環境、水文調査を実施するとともに、道路建設工事や橋梁下部工及びトンネル工事を推進します。



- 佐久間IC～東栄IC間は、平成30年度の供用を目標に工事を進めます。
○東栄IC～鳳来峡IC間は、今年度は用地買収、測量、設計を実施します。



①東栄IC現状



②東栄IC現状



③佐久間第1トンネル(坑口)



④三遠川IC現状



⑤三遠川IC現状



⑥佐久間に現状



⑦佐久間に現状

5

期待される効果① 三遠南信地域における高速ネットワークの確保

- 三遠南信自動車道の整備により、三遠南信地域では、**高規格幹線道路ICへのアクセス時間が60分を要する地域が解消**され、三遠南信地域の高速ネットワークが確保されます。
- 長野県と静岡県を結ぶ主要路線である**国道152号の通行不能区間を回避**することとなり、三遠南信地域の生活の利便性が向上します。

◆飯田市と西遠都市圏及び東三河都市圏の主要拠点との所要時間短縮効果



6

期待される効果② 災害に強い地域ネットワークの構築

- 三遠南信自動車道の整備により、**事前通行規制を回避**することが可能になります。
- 地域生活において、雨量に影響を受けない**安心・安全な災害に強いネットワーク**が確保されます。
- 三遠南信災害時相互応援協定に伴う連携促進が可能となり、**災害時の地域の安全性、信頼性の強化**となります。

◆三遠南信災害時相互応援協定（平成8年締結）

- (1)被災者の救出・救護、応急復旧等に必要の職員の派遣
- (2)救出、医療、防疫、施設の応急復旧等に必要の資機材（車両を含む。）及び物資の提供又は貸与
- (3)食料、飲料水、生活必需品等の救援物資及びその供給に必要な資機材（車両を含む。）の提供
- (4)児童生徒等その他被災者の一時受入れ
- (5)全各号に附するもののほか、特に要請のあった事項

※「三遠南信地域連携ビジョン」において、「三遠南信災害時相互応援協定」の充実（広域的な連携による災害復興業務等）による、安全安心な地域づくりの促進が図られています。



上図は、協定による6ブロックと各ブロック代表都市を示す



◆三遠南信自動車道の整備による災害に強い地域の構築



7

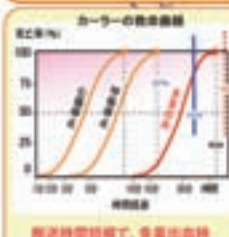
期待される効果③ 地域の医療サービスの向上

- 三遠南信自動車道の整備により、**第3次救急医療施設へ60分以内での搬送が可能となり、救命率の向上**が期待されます。
- 開通区間においては、**救急搬送時に患者への負担が軽減**したと言われております。

◆第3次救急医療施設60分圏の拡大



遠山郷からの搬送時間短縮
現在約80分 → 約30分
約50分短縮

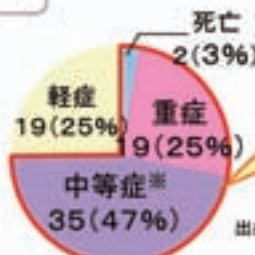
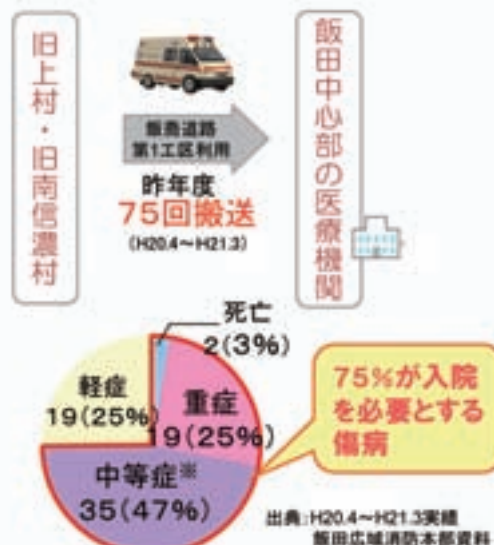


搬送時間短縮で、多量出血時の救命率が90%に向上



※規制速度より算出

旧上村・旧南信濃村からの救急搬送



75%が入院を必要とする傷病

出典: H20.4~H21.3実績 飯田広域消防本部資料

8

期待される効果④ 高速サービス向上による地域間連携の強化 ～観光・交流支援を例に～

- 三遠南信自動車道の整備により、浜松市から遠山郷へのアクセスは、約90分短縮されます。
- 名勝天龍峡では、飯橋道路第1工区の開通後、観光客数が増加傾向を示しました。
- 三遠南信自動車道の整備により、観光振興による地域の活性化が期待されます。

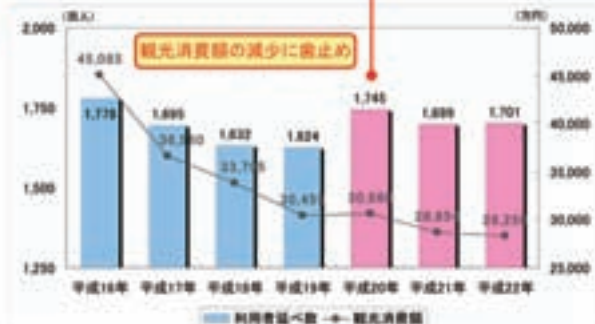
◆三遠南信地域の主な観光地



◆天龍峡利用者延べ数[※]及び観光消費額の年推移

※日帰り客数+宿泊客数

飯橋道路第1工区(飯田山本IC～天龍峡IC)
H20.4.13開通



出典：『平成22年観光地利用者統計調査結果』長野県観光振興企画課

9

開通効果①（小川路峠道路）高校生のバス通学が実現

矢筈トンネル開通後、バス路線開設により、
高校生のバス通学が実現

開通前

- 遠山谷地区には高等学校がなく飯田周辺への通学が困難なため飯田市に下宿
- 下宿代を月8万円の負担



開通後

- 親元からバスでの通学が可能に
- バス代を月3万円の負担（5万円の負担減）



10

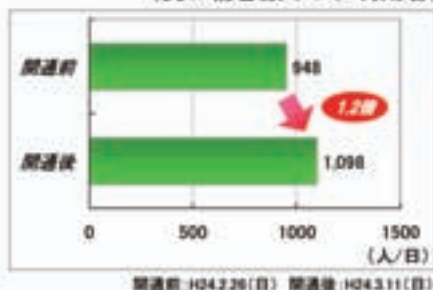
開通効果②（佐久間道路・三遠道路） 観光施設の集客向上

開通後の沿線の観光施設では、入込客数が増加し、奥三河・南信地域における浜松方面からの集客力向上に貢献。

■とうえい温泉入込客数の変化
（平日正午における駐車台数の変化）



■道の駅信州新野千石平入込客数の変化
（買い物客数：レジ利用者）



観光交流施設の運営者の声 （道の駅信州新野千石平）

開通後、駐車車両の大半が浜松ナンバーとなり、浜松方面からのお客さんで賑わいが増しました。浜松方面等への時間が短縮され、道の駅の更なる賑わいと広域圏に向けた南信地域の情報発信・事業拡大が期待できます。

11

2027年 リニア中央新幹線 開通

劇的に変わる東京との時間距離



12

リニアを活かす道路整備

- リニア中央新幹線の開業により、地域間所要時間が変化し、国内外の広域な地域からの交流人口の増加が大きく期待
- リニアの効果を三遠南信地域全体に波及させるために三遠南信自動車道が不可欠
- また、南信地域の主要交通機関である自動車や高速バスとの結節が重要



- 自動車や高速バスとの結節の例
＜スマートインターチェンジ＞ ＜バイパスの整備＞



13

リニアを活用した産業活性化

観光連携

- リニア開業を見据え、新たな連携で新駅周辺等の拠点整備や海外からの玄関口としての機能を強化
- インバウンド観光を含む観光需要を増加させ、他地域との連携強化を図る。



企業誘致

- 地域特有の製造業の強みや、自治体による体制を背景にした企業・研究所の立地促進
- 災害リスク分散のための沿岸部から内陸部への拠点分散
- 商圏の拡大、通勤圏等の拡大による人材確保を背景とした地域産業育成

・地域産業育成基盤の整備



例)天龍峡エコバレープロジェクト

- 食と農のファクトリーパーク
 - ・食農工房を中心とした体験、癒しの場
 - ・環境に配慮した地元産材利用の場
- 地元産材活用、環境共生住宅、コミュニティ形成
- エコライフの推進と多種多様な居住形態
- ・地球温暖化防止と住宅産業の活性化
- 環境産業公園
 - ・環境ビジネスの推進、研究開発の拠点、環境教育の推進

(出典)『地域経済活性化プログラム2013』飯田市、平成25年2月

14

政策の基本方針1：中部圏の中核となる地域基盤の形成

① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現

三遠南信 250 万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結び日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けた取り組みを推進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信自動車道の高規格幹線道路としての全線にわたる早期整備を目指します。特に、(仮)青崩峠道路の早期開通を強く働きかけます。
- ・ 三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けて関係機関へ積極的に働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国への要望などの活動を進めます。

② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実

国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した(シームレス)ネットワークを形成します。

【活動イメージ】

- ・ 港湾、空港と高速道路が一体として機能できるように優先的整備を進めるため、国・県等の関係機関に働きかけるとともに、その積極的な利用に努めます。
- ・ 三河港は、世界的な自動車港湾としての機能を充実するとともに、コンテナ物流の機能を強化します。また、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路構想の実現など、高速道路へのアクセス強化、後背地と港湾を結ぶ国道 23 号バイパスの整備促進を働きかけます。
- ・ 御前崎港は、地域の物流拠点としての機能強化を図るとともに、国道 150 号や金谷御前崎連絡道路の整備を進めます。
- ・ 中部国際空港及び富士山静岡空港においては、就航本数や国内外定期便の増大など利便性の向上に向けた要望を行うとともに、交通アクセスの向上により地域の回遊性などを高め、観光客、航空貨物等の受け入れ態勢を整えます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって国への要望などの活動を進めます。

③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置

リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。

【活動イメージ】

- ・ リニア中央新幹線の早期実現に向けて、全国新幹線鉄道整備法の基本計画から整備計画への格上げを働きかけます。
- ・ 新しく策定される国土形成計画に、科学技術創造立国に相応しいリニア中央新幹線の整備を明確に位置づけるように働きかけます。
- ・ 関係機関と連携、協力し、建設促進の運動や要請活動、調査等を行うとともに、飯田駅実現に向けた運動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国等への要望などの活動を進めます。

④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進

浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 東名高速道路、国道1号・23号バイパス、国道151号、国道152号バイパス、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路を結び合わせることで、豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。
- ・ 東名高速道路部分については、第二東名高速道路に長距離交通が転換すると考えられ、スマートインターなどを活用して、利用を促進します。
- ・ 豊橋・浜松環状道路を取り巻く地域に対して、県境を越えた広域的な視点（広域調整）により都市構造やインフラなどの資本ストックを有機的に結び付けた基盤整備を進めます。特に広域都市の中心部に位置し、交流や居住など多様な可能性を有する浜名湖ゾーンの活用を図ります。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、整備方針を検討します。

⑤ 県境を越えるマスコミの連携

三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信地域内の情報連携の基盤として、各マスコミの連携に向けた意見交換を促進します。
- ・ 県境近接地域での、医療情報等の生活情報の連携を働きかけます。
- ・ 「三遠南信版」の紙面確保や共同ポータルサイトの可能性検討、情報交換を働きかけます。
- ・ 県境を越えるCATVの番組流通や、県境隣接地域での他県の民間テレビ電波の受信の緩和を働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会、市民団体などと意見交換を行い、連携活動を検討します。



分科会

資 料

第21回三遠南信サミット2013 in 南信州

新しい連携体制の実現に向けて
～三遠南信連携の発展と越境連携地域交流～

広域連携による新たな産業の創出と人材育成の取り組みについて

- ・自然豊かな文化経済自立都市
- ・西に中央アルプス・東に南アルプス
- ・天竜川に育まれた盆地

飯田市産業経済部 高田 修

市田柿

街のシンボル
りんご並木

多様なものづくりの集積地

多様な主体によるまちづくり

シチズン平和時計

夏目光学

エアロスペース飯田

飯田のハイテク産業

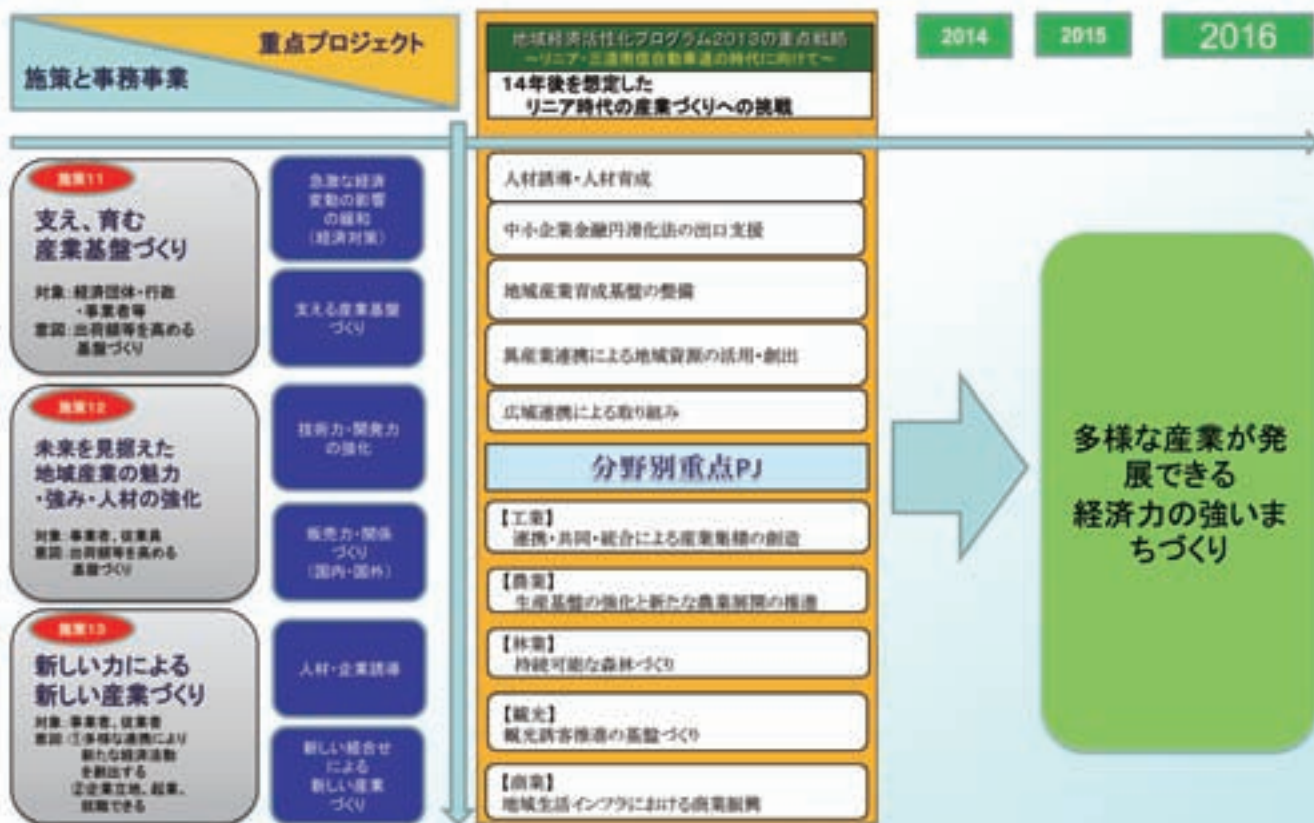
多摩川精機

人形劇のまち

三菱電機飯田工場

オムロン飯田

飯田市の産業政策・施策・事務事業と重点プロジェクト



南信州地域産業活性化基本計画の概要

南信州域14市町村ならびに県、産業支援関連機関等が一体となって、本地域において「強み」を発揮する産業である①「高度ものづくり産業」、②「地域風土密着産業」③「頭脳活用産業」の3つの産業を基軸とした既存企業の高度化ならびに新増設等の新たな企業立地や設備投資等を積極的に促し、本地域の産業活性化を図る。この実現のために関係各機関が受け皿整備、人材育成、事業環境整備を行う

1. 集積区域 南信州域14市町村
(飯田市、松川町、高森町、阿南町、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、豊原村、奥木村、豊丘村、大鹿村の1市3町10村)

2. 集積産業
①高度ものづくり産業 ②地域風土密着産業 ③頭脳活用産業

3. 集積区域における集積産業に係る成果目標
(目標: 平成29年度)
○粗附加価値増加額 72億円 ○新規立地件数 39件
○製造品出荷額増加額 175億円 ○製造業従業者数増加数 604人

4. 目標に向けた事業環境整備等
○工場用地等の整備
・三遠南信道路IC周辺に産業用地の整備検討
・空き工場建屋、遊休地等の情報収集及び活用
・貸し事業所(貸工場・貸事務所等)整備検討
・廃校舎や古民家など遊休施設の利活用
○人材育成・確保
・人材育成支援(ネットワークの活用、技術技能の向上)
・人材確保支援(U・I・J・ターン支援、大学との連携)
○技術支援等
・「南信州・飯田産業センター」の機能拡充・強化の検討
・技術高度化による成長産業分野への進出促進支援
○事業環境整備
・優遇制度拡充の検討
・「南信州テクノバレーマップ」(仮称)の作成検討
・地域アドバイザー等の連携推進
・販路開拓支援
・広域連携による新事業支援

②地域風土密着産業
本地域の自然、歴史に根付いた、食品、紙、皮革等と大学・各種研究機関、医療機関等による「農工連携」、「医工連携」、「観光」と連携した医療ツーリズムの推進などを行う

③頭脳活用産業
内陸、固い地盤、中央リニア新幹線などの条件を活かし、情報サービス業やインターネット関連産業、デザイン業の集積を図る

①高度ものづくり産業

トップクラスの精密機械関連、電気・電子機械関連およびその周辺産業のさらなる集積を図る



三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)地域広域基本計画の概要

三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)地域広域基本計画の特徴(地域の取組)

中京圏と関東圏の中間に位置する三遠南信地域(静岡県遠州地域、長野県南信州地域、愛知県東三河地域)において高いポテンシャルを有する輸送用機器次世代技術産業、光エネルギー産業を中心に、農工商連携、医工連携等の新事業展開、新産業創出、「光・電子イノベーション創出拠点」(産学官連携拠点)及び「三遠南信地域連携ビジョン」の具現化を行う。

※3市の製造品出荷額:約5兆円(平成19年工業統計)

※3市の農業産出額:約1,100億円(平成18年生産農業所得統計)

1. 集積エリア

静岡県浜松市、愛知県豊橋市、長野県飯田市

※三遠南信地域の各市町村企業等に関しては事業において積極的に連携する。

2. 集積産業(業種)

輸送用機器次世代技術産業、健康・医療関連産業、新農業、光エネルギー産業

3. 母体となったクラスター計画等との関係

産学官連携拠点「光・電子技術イノベーション創出拠点」及び三遠南信地域連携ビジョンの具現化

4. プロジェクト概要

○三遠南信広域イノベーションクラスター形成
(次世代輸送機、航空宇宙、健康医療、新農業、光・電子)

○人材育成

(コーディネータの戦略的育成、中長期的な人材育成)

○事業環境整備

(三遠南信地域連携ビジョン推進会議、三遠南信ビジネスマッチング、首都圏等における展示商談会の実施等)

6. 広域基本計画の取組(図示)

● 産業支援機関

● 大学

▲ 中堅・大企業

(Ex スズキ、ヤマハ発動機

浜松ホトニクス、多摩川精機 等)



(公財)南信州・飯田産業センターの概要 ～ものづくり産業の中核支援機関～

主な企業群 360

精密機械工業系 130社
電気・電子工業系 30社
食品産業系 160社
伝統産業(水引他) 40社

大学・公設試験機関

信州大学
明治大学
長野高専
諏訪東京理科大学
長野県総合技術センター

公益財団法人南信州・飯田産業センター

- ◆ 地域産業振興事業
- ◆ 産業技術大学
- ◆ ビジネスネットワーク支援センター
- ◆ 工業技術センター
- ◆ EMCセンター(電磁波防止技術)
- ◆ 環境技術開発センター(インキュベーション)
- ◆ 地場産品紹介、販売



関連省庁

経済産業省
中小企業庁

市町村

長野県・飯田市
周辺13町村

県内支援機関

長野県テクノ財団
中小企業振興センター

金融機関

飯田信用金庫
八十二銀行

Think tank

しんきん南信州地域
研究所

広域ネットワーク

【三遠南信】

浜松商工会議所
豊橋商工会議所
サイエンス・クリエイティブ(愛知)

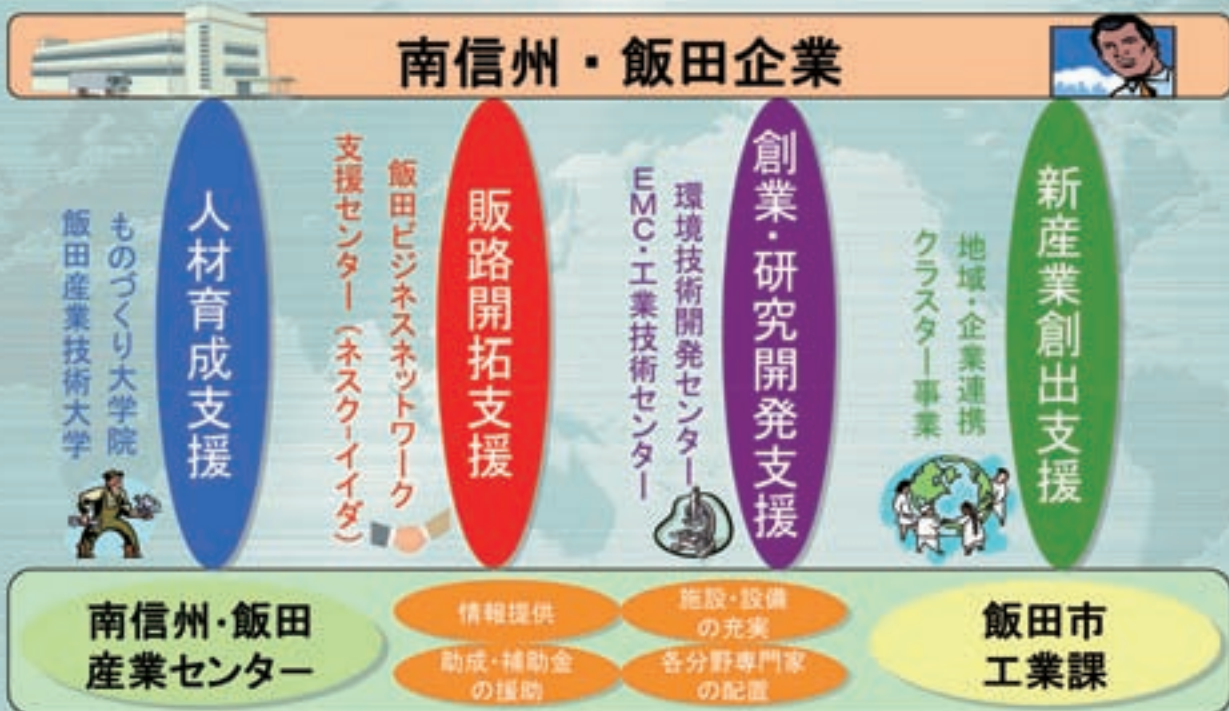
【航空】愛知県・岐阜県

中部経済連合会
中部航空宇宙技術センター(愛知)
(株)VRテクノセンター(岐阜)
(株)ティ・エフ・マネージメント(愛知)

【環境】科学技術振興機構(埼玉)

南信州・飯田地域の産業支援メニュー

～4つの柱で企業を支えます～



6

VER 1.2

専門家配置による支援体制の充実と新産業クラスターの育成支援強化

◆工業技術センター（研究開発支援）

涌井正浩 センター長（工学博士）

◆EMCセンター（研究開発支援）

村松 康智 技術者

◆環境技術開発センター（創業支援）

福井 徹 インキュベーションマネージャー

◆信州大学飯伊産学官連携室

涌井正浩 兼室長

◆ビジネス支援ネットワークセンター

木下 幸治 オーガナイザー

久保田優典 オーガナイザー

○クラスター活動支援

松島信雄 地域連携マネージャー

林 敏郎 航空宇宙受注営業担当

荻原俊英 航空宇宙特殊工程・品質保証担当

逸見次郎 環境産業担当

熊谷秀男 6次化・農工商連携担当

求められるコーディネーターの条件

- ・ 十分な熱意がある。
- ・ 調整能力、課題発見能力を備えており、コミュニケーション能力も高い。
- ・ 10～20年程度の実務経験を持つ。営業経験も重要。
- ・ 自らの責任における事業経験を持つ。商社やメーカーの事業部経験者などで、良い成果を残している。
- ・ 幅広く、かつ質の良い人脈・ネットワークを持っている。
- ・ 長期的に継続支援できる。（地域内に居住している）

コーディネーターの環境整備

- ・ 自由に動くことが出来る。
- ・ 様々な機関にアクセスしやすい所属・ポジション。
- ・ 事務処理の支援。（担当職員を配置）

今後に向けた課題

- ・ 多様化するニーズに応えるための即戦力人材の確保。
- ・ 人件費の確保。

新産業の育成支援 ①

航空宇宙産業クラスター形成の取り組み

飯田下伊那地域に新たな産業の柱を育成するために、今後成長が期待される航空機産業に着目し、中京圏に近いという地の利と当地域に厚く集積している精密加工・電気電子技術を基盤として、平成18年5月に飯田航空宇宙プロジェクトを立ち上げた。現在36社が参画し、航空機部品の共同受注体制の構築や展示会等の販路開拓、技術力向上のための人材育成に取り組んでいる。

・ 業種構成

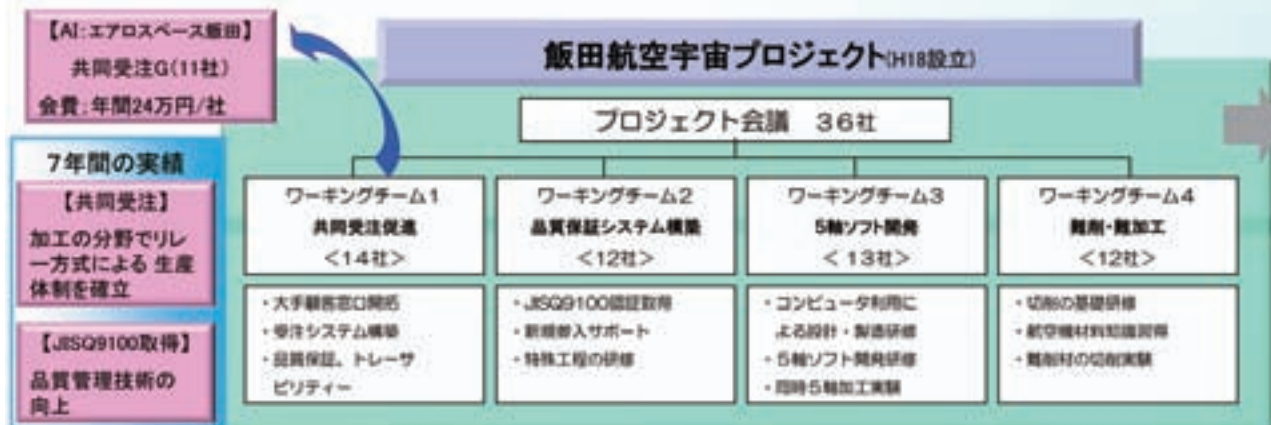
－ 飯田航空宇宙プロジェクトの参加企業数:36社

機械加工19社、金形・プレス加工4社、成形加工1社、精密板金加工1社、鋳造・光造形1社、電子機器製造6社、光学機器・レンズ加工1社、熱処理加工2社、メッキ加工2社、組み立て4社、ソフト開発1社、機械設計2社

・ プロジェクト活動

－ プロジェクト発足:2006年5月24日

－ プロジェクト活動:定例PJ会合1回/2ヶ月

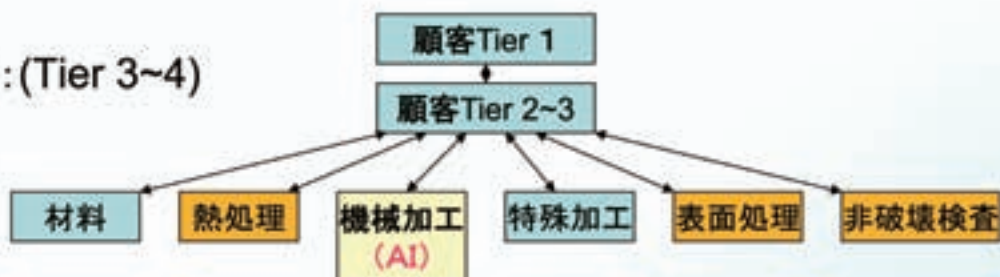


新産業の育成支援 ①

航空宇宙産業クラスター形成の取り組み

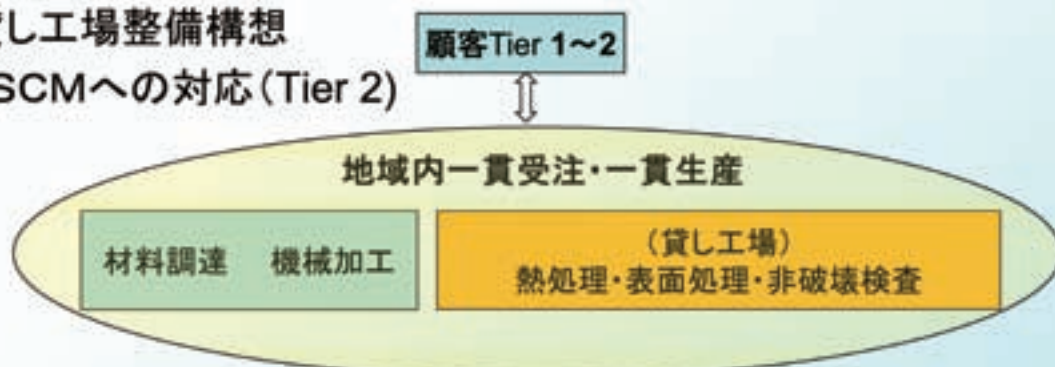
地域内の一貫生産・受注体制の構築構想

・ 現状:(Tier 3~4)



・ 貸し工場整備構想

新SCMへの対応(Tier 2)



Tier=階層

SCM=サプライチェーンマネジメント

航空宇宙産業クラスター形成の取り組み

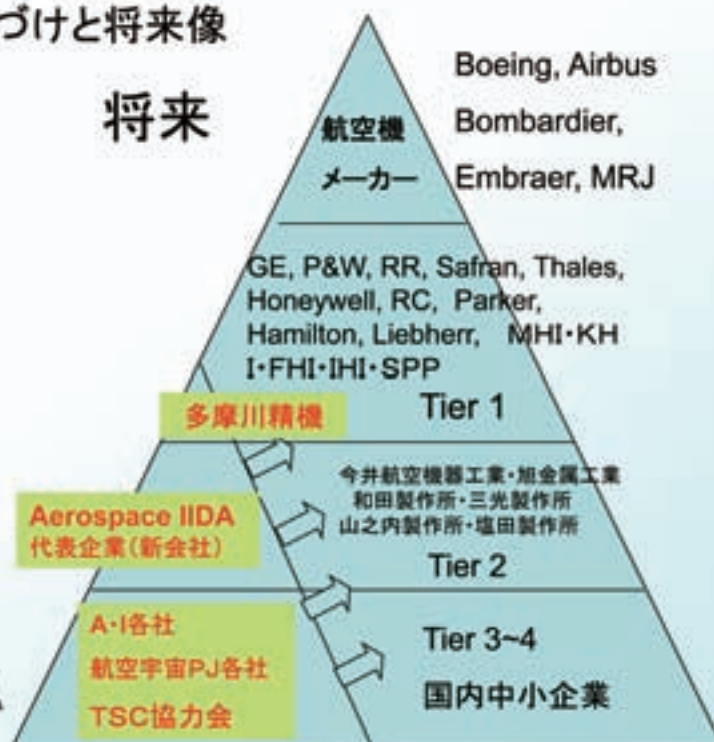
業界における地域内企業の位置づけと将来像

現状



Tier=階層

将来



新産業の育成支援 ②

メディカルバイオクラスター形成の取り組み

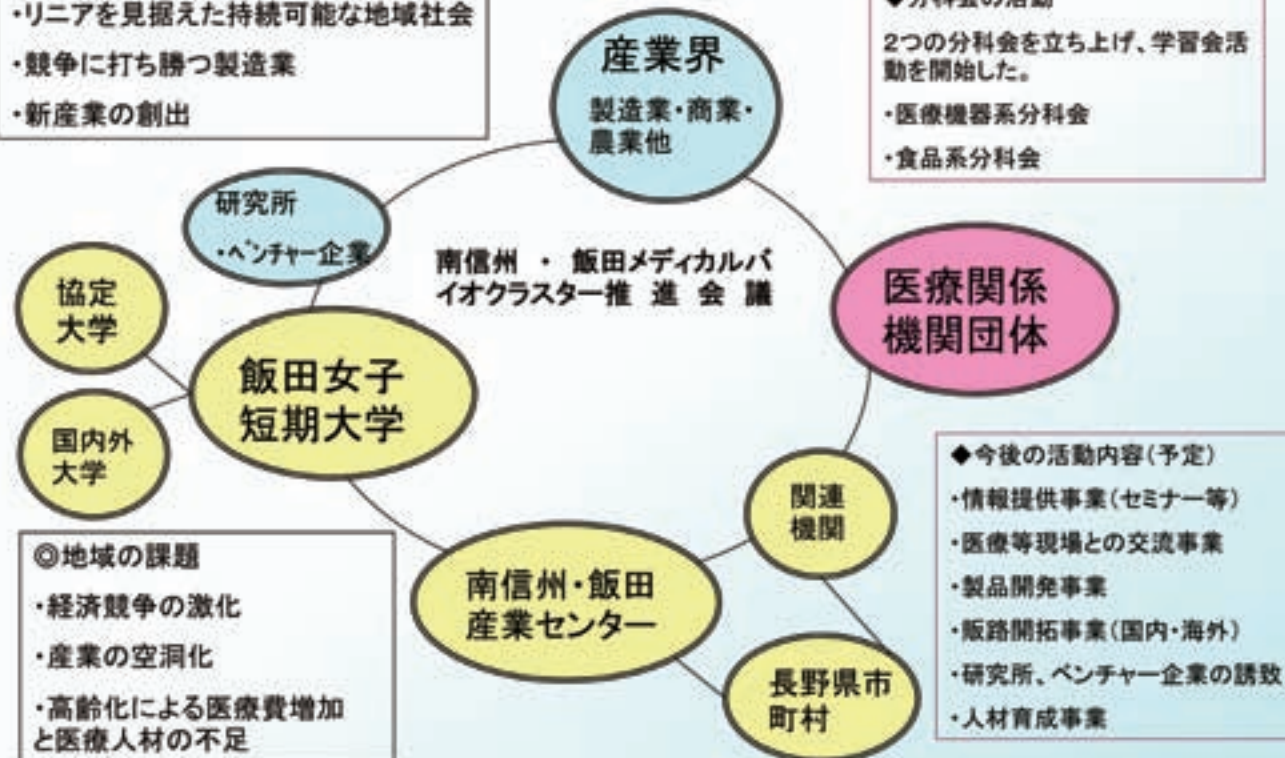
◎目指す将来像

- ・リニアを見据えた持続可能な地域社会
- ・競争に打ち勝つ製造業
- ・新産業の創出

◆分科会の活動

2つの分科会を立ち上げ、学習会活動を開始した。

- ・医療機器系分科会
- ・食品系分科会



◆今後の活動内容(予定)

- ・情報提供事業(セミナー等)
- ・医療等現場との交流事業
- ・製品開発事業
- ・販路開拓事業(国内・海外)
- ・研究所、ベンチャー企業の誘致
- ・人材育成事業

新産業の育成支援 ③ 環境産業クラスター形成の取り組み

マイクロ水力発電実証事業

再生可能エネルギーの利用、それを利用する地域住民の課題解決、開発製品等の検証を行う。

🌊 **実証期間** 平成24年10月～（平成25年8月4日稼働開始） 🌊 **実証場所** 千代地区野池倉畑沢

🌊 **事業体制**

地元関係者との調整、河川及び周辺の許可等

→ 担当: 地球温暖化対策課

ものづくり(水車・発電機) 飯田精密機械工業会

→ 担当: 工業課・産業センター

設置工事(土木・電気) 長野県建築士会飯伊支部

🌊 **ビジネスモデル(将来)**



人材育成支援の取り組み

ものづくり技術開発の原動力となるべき実践的な人材と経営者を育成する。

取り組み事業 I 飯田産業技術大学 II ものづくり社会人大学院

- ①技術系社会人のレベルの向上
- ②技能者の養成
- ③戦略型経営者の育成



- 地域経済の活力向上に貢献
- 産学共同による新産業創出

I 飯田産業技術大学 開講講座 技術講座【25講座】・経営講座【20講座】・特別講座【5講座】

連携機関

信州大学・明治大学・長野高専・飯田東京理科大学・飯田技術専門校・飯田工業高校・日本経営士協会・名古屋品証研(株)・アイシンコラボ 他、(株)VRテクノセンター・(株)ナレッジ総研他

Results for 7 years

年度	講座数	受講企業数	受講者数(延べ)
2006	基礎 20	101	2,038
2007	基礎・中級 34	111	2,206
2008	基礎・中級・上級 38	136	1,548
2009	基礎・中級・上級 45	279	1,847
2010	基礎・中級・上級 40	305	1,177
2011	基礎・中級・上級 40	240	1,156
2012	基礎・中級・上級 43	248	1,147



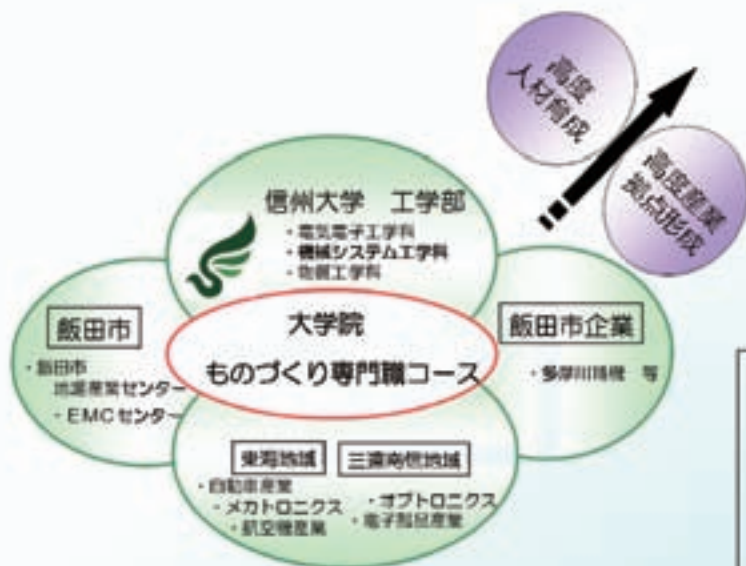
3次元CADオペレーターの育成

Ⅱものづくり社会人大学院「モバイル制御機器技術者育成コース（飯田コース）」

～ 飯田市の「ものづくり人材育成」における最も高度な人材育成プログラム ～

○信州大学工学部の協力による講義とシミュレーションを重視した実践的教育

○「精密機器制御・高効率生産システム分野」および「移動体の制御すなわちモバイル制御に関する分野」を指向している。



修士課程 修了者

【2009年】	3月	2名
【2010年】	3月	3名
【2010年】	9月	2名
【2011年】	3月	2名
【2011年】	9月	2名
【2012年】	3月	2名
		合計13名

信大衛星「ぎんれい」の開発に飯田地域の企業も参加し、産学官連携による研究開発を推進しています。H26打ち上げ予定



可視光通信実験衛星

政策の基本方針 2：持続発展的な産業集積の形成

① 三遠南信ビジネスマッチングの推進

三遠南信地域の地域経済の活力を高めていくために、県境を越えて企業間の交流を深め、新規ビジネスの創出を支援します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信地域を対象としたビジネスマッチング機会を積極的に創出します。
- ・ 信用金庫等の地域金融機関が連携して、企業・人材情報を蓄積し、企業交流を促進します。
また、地域金融機関のサミットを開催します。
- ・ 各地域で開催される産業展示会等では、三遠南信地域内の企業が積極的に参加できるようなPR活動を進めます。
- ・ 県境を越えてビジネスプラン等を持つ企業の発表機会をより多く設けていきます。

【推進主体とその活動】

- ・ 浜松市、豊橋市、飯田市の各商工会議所が中心となり、三遠南信地域経済開発協議会や地域金融機関等の協力・支援を得ながら推進します。

② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進

「三遠南信」が知名度を高め、国内外へ向けた地域プロモーションを進めるため、三遠南信地域が一体化した人材・企業投資等の誘導戦略をつくり、人材・企業誘致活動を推進します。

【活動イメージ】

- ・ 国内外の将来性豊かな企業を対象とした誘致活動を推進します。
- ・ 海外、国内他地域への情報発信力を強化するため、特徴ある産業集積、クラスター事業や、工業団地、企業立地優遇措置等について、複数言語によるポータルサイトの整備や、相談窓口の充実化を図ります。
- ・ 企業誘致パンフレットの共同制作の検討等、企業誘致活動における連携活動を充実します。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所、商工会等が中心となって、活動を促進します。

③ 特徴ある産業クラスター拠点づくり県境を越えた事業連携

世界的な「ものづくり」地域として継続的な発展を続けるには、新規産業の育成が不可欠となっています。そのために特徴ある産業クラスターを形成するための拠点づくりと、県境を越えた事業連携を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 特徴ある産業クラスターとして、オプトロニクス（光電子工学）クラスター、航空宇宙産業クラスター、食農産業クラスター、農工連携、医工連携等の広域拠点づくりを進めます。
- ・ 自動車、鉄道などの輸送用機器や工作機械、ロボット等の産業を重点に、三遠南信全域を対象とした産業クラスターづくりを推進します。
- ・ 各産業クラスターの強化を図るため、三遠南信地域や他地域からの企業参加等を積極的に誘導するためのポータルサイトの整備や、窓口・仲介機能を充実します。

【推進主体とその活動】

- ・ 三遠南信バイタライゼーション協議会が中心となり、はままつ産業創造センター、(株)サイエンス・クリエイト、(財)飯伊地域地場産業振興センター等と連携しながら推進します。

④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

三遠南信地域における人材の育成・定着、技術開発力の強化、文化や芸術の振興などに向けて、地域の総合的な学術研究機能や高等教育機能を高めるために、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムを設置します。

【活動イメージ】

- ・ 大学間の意思疎通を高め、地域との連携を促進するために、三遠南信地域内の大学学長による意見交換の場を設けます。
- ・ 単位互換等を促進することで、三遠南信地域の大学が連携した総合大学としての魅力を創出します。また、地域集積が高い農林業分野等について、新規大学の誘致を検討します。
- ・ 大学の総合力を高めるために、各専門の枠を越えた研究者間の交流機会の創設、共同研究を促進します。
- ・ 人材の地域定着を促進するために、県境を越えるインターンシップ事業を促進します。
- ・ 地域との交流として、地域学の創設やコミュニティカレッジとしての役割を検討します。
- ・ 三遠南信地域の戦略的な分野に関して、国際学会誘致など全国の大学や国外の大学との連携を支援します。

【推進主体とその活動】

- ・ 大学、自治体等が中心となって、運営組織を立ち上げ、活動を推進します。



分科会

資 料

ゆべしづくりから 三遠南信交流へ

天龍村柚餅子生産者組合 組合長
(南信州交流の輪 代表世話人)
関 京子

1



対岸からの坂部集落



坂部の周囲の山桜

長野県 天龍村 坂部

2



たい切り面

坂部の冬祭り

毎年1月4～5日に開催される、勇壮な湯立て神楽

天公鬼



3



天龍村柚餅子生産者組合

昭和50年に地区の生活改善グループを母体として結成。

「柚餅子（ゆべし）」の開発は、過疎化が進む中、主婦の視点から地域の活性化を模索し、かつて地区に伝わりながら消えようとしていた武士の携帯食を後世に残そうと挑戦したのが始まり。

柚子が橙色に色づくころになると、「ゆべし」づくりが始まります。最近まで味噌も手作りで製造していました。



「ゆべし」は独特の風味と香りがある珍味

4



坂部の冬祭りでの初めての試食販売



販売と同時に商品開発



長野市の西友川中島での販売



浜松市の松菱での販売

5

出会い

ゆべしづくりとその販売から地域づくりに
取り組むきっかけとなる出会い。

全国各地へ講師として呼ばれ、またその地
域で活動する人との出会い。



6



交流

最近、高齢者と子供達のふれあいによる山里文化の伝承、都市との交流、グリーンツーリズム活動等も行っています。

小さな分校で始まった秋風コンサートは、飯田市でカネトの合唱団ができるきっかけとなりました。



南信州交流の輪の設立

◆平成22年11月12日

「第18回三遠南信サミットin南信州」において「南信州交流の輪」の設立。

南信州交流の輪では、まず横の連携を深めるため、「「学ぶ・体験する・交流する」講座を開催したり、会員相互の交流を行ってきました。



三遠南信住民ネットワーク協議会の設立

◆平成24年6月1日
三遠南信住民ネットワーク協議会を設立。
三遠南信同士の住民レベルのプラットフォームとして、組織を立ち上げた。



9



「新・地域づくりフォーラム」の開催

◆平成25年9月14日開催

南信州交流の輪が主催する「新・地域づくりフォーラム」を開催。

設立から3年目を迎え、事業化に向けた次へのステップを目指す。



10

現在の「南信州交流の輪」の取り組み

地域の宝物である「祭り」と「食」を融合した『祭り街道弁当』の取り組み



11

感謝



12

ご清聴ありがとうございました。

政策の基本方針 3：塩の道エコミュージアムの形成

①「塩の道」風景街道の体制づくり

三遠南信地域は、歴史的に形成された南北の「塩の道」に沿って形作られており、自然・歴史・文化・産物など地域特有の資源を守り、掘り起こし、磨きあげ、往来の物語を構築します。このために、「塩の道」風景街道の体制づくりを進めます。

【活動イメージ】

- ・ 国土交通省の「日本風景街道」に登録し、具体的な連携活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の風景価値を高めるための地域連携・発信活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の地域資源を掘り起こし、磨き、活かす活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の自然、歴史、伝統文化、暮らしを学び、伝える活動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- ・ 三遠南信地域内の市民団体等を中心に、事業内容を検討します。

② 地域資源を活かす鉄道の有効利用

塩の道エコミュージアムの形成を支援する鉄道の観光活用を進めます。

【活動イメージ】

- ・ 鉄道事業者と連携を取りながら、地域内を結ぶ鉄道と観光資源のネットワーク化を検討します。
- ・ JR東海道線の増便などの鉄道の利便性を向上させます。
- ・ JR飯田線、天竜浜名湖線の観光利用を地域運動として促進することを検討します。
- ・ 豊橋市の路面電車、佐久間レールパーク等鉄道資源を利用したイベントの開催を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 鉄道事業者、自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、事業内容を検討します。

③ 海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進

三遠南信地域の観光資源は、山から海までの自然資源、歴史、産業観光など多様であり、交通の利便性も高いことから、一地域での周遊性を期待する訪日外国人観光に適しています。このため、海外への観光情報発信と外国人観光客誘致を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 海外で開催される国際旅行博覧会等に参加し、三遠南信地域の観光 PR をするため、外国語広域観光マップ等を活用して観光情報発信を進めます。
- ・ 複数の外国語で閲覧できる三遠南信観光ポータルサイト（インターネットホームページ）を作成します。
- ・ 地域の観光関連事業者と連携して、外国人観光客を対象とした三遠南信地域を巡る観光モデルツアーの商品化を検討します。
- ・ 海外へ三遠南信観光プロモーション団を派遣します。
- ・ 富士山静岡空港、中部国際空港への国際定期便の増便、路線増設、国際チャーター便の運行を航空会社、空港会社、国・県、旅行会社等へ働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、観光関連事業者、三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会等が連携して、事業を促進します。

④ 三遠南信アンテナショップの開設

三遠南信地域の地域固有の商品・サービスを広く圏域内外にアピールし、新たな販路を広げるため、特産品販売の場づくりとして、三遠南信アンテナショップを開設します。

【活動イメージ】

- ・ 浜松市、豊橋市、飯田市等の拠点都市の中心市街地等へ、三遠南信地域の特産品の展示・販売、観光情報、地域情報の発信等を行うアンテナショップ（仮称：三遠南信ふれあいショップ）の開設を検討します。
- ・ 大都市部（東京、名古屋、大阪等）での三遠南信アンテナショップの開設を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会、観光協会、農林水産団体等が中心となって、事業内容を検討します。



資 料

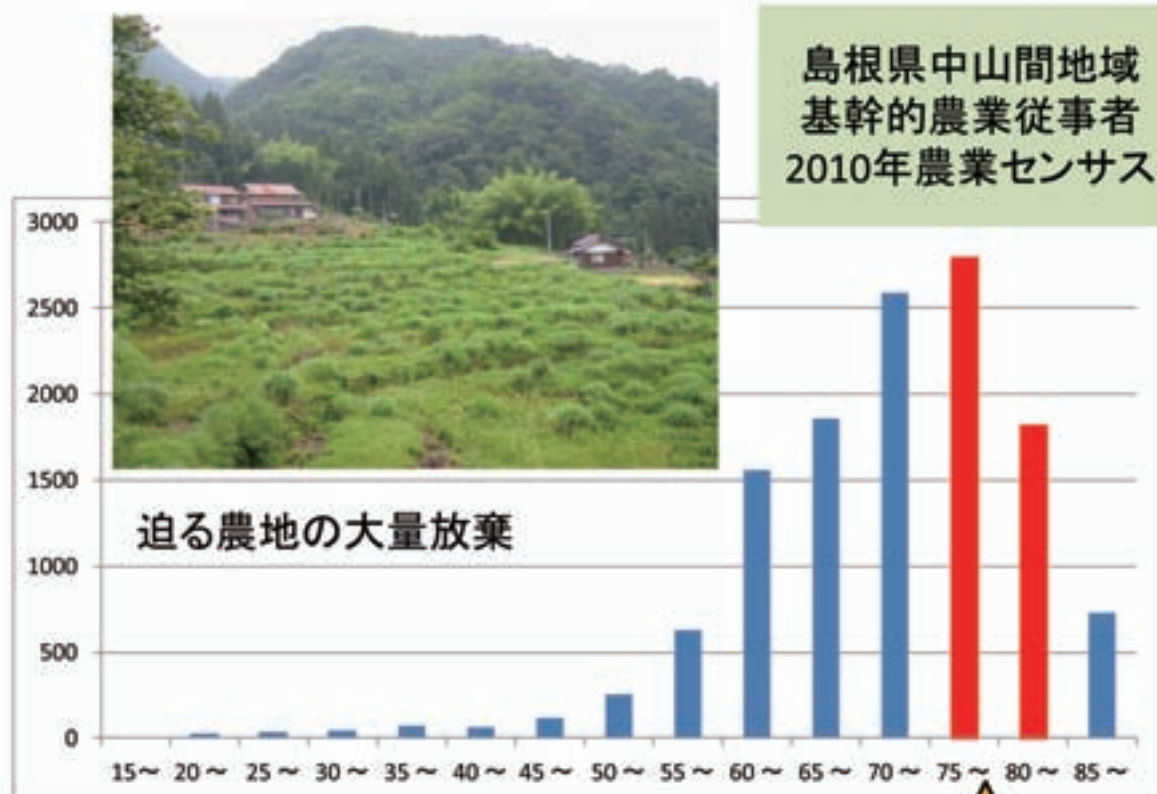
新たな地域社会の持続性を考える

島根県中山間地域研究センター 研究統括監
島根県立大学連携大学院 教授

藤山 浩

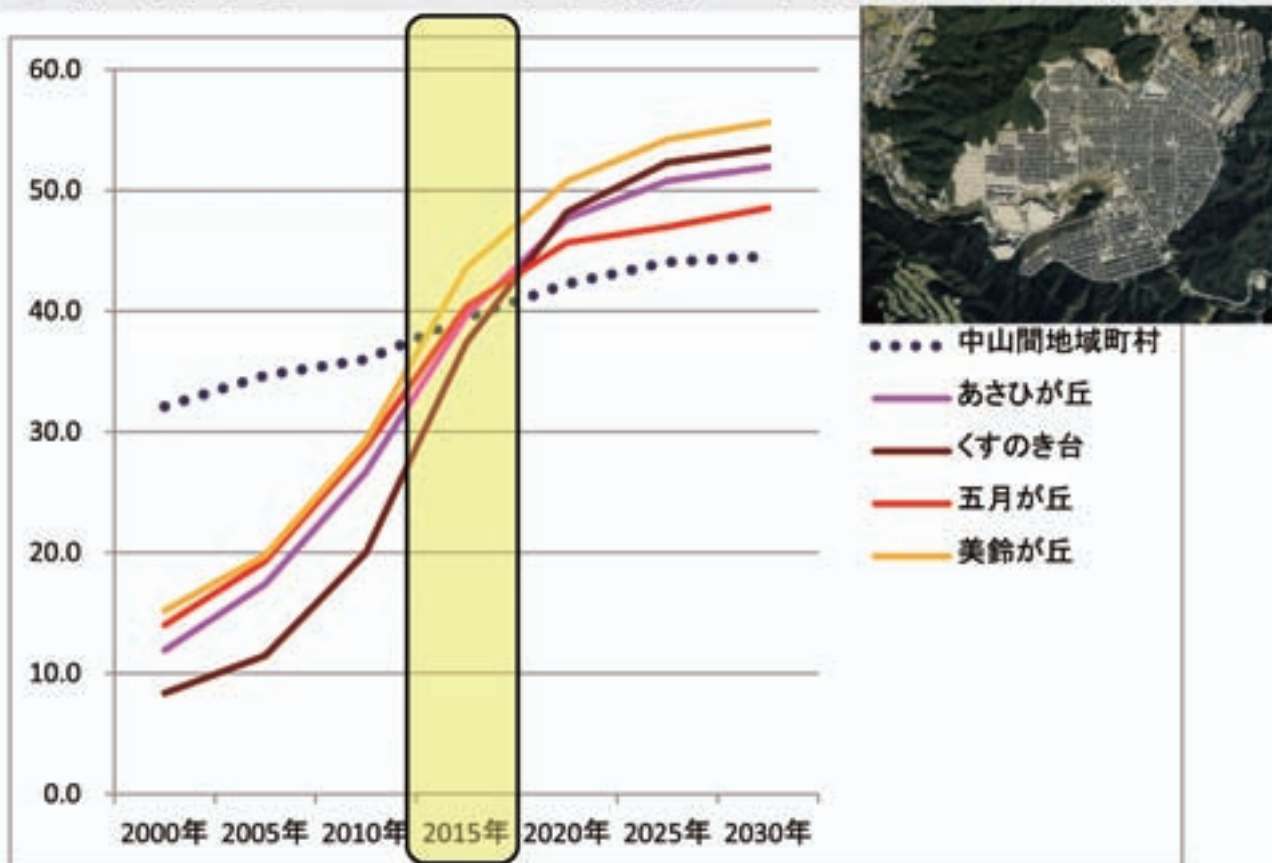


●中山間地域の「2015年危機」～「昭和ひとけた」80歳以上

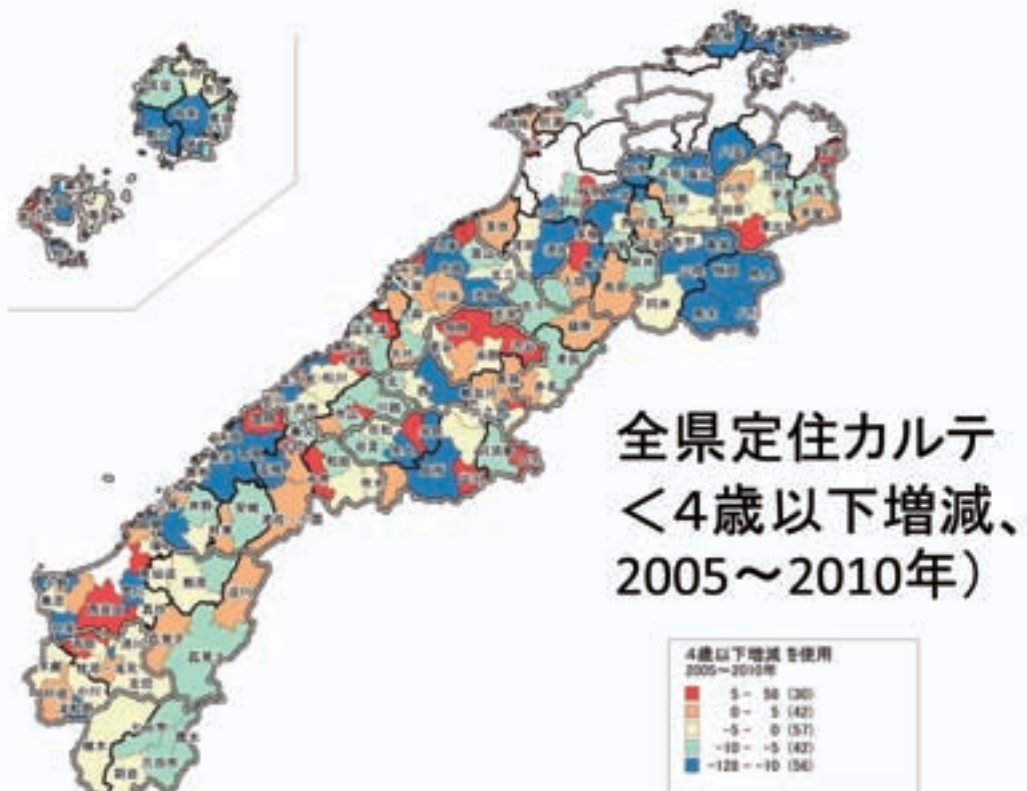


島根県における農業引退(畦畔除草を辞めた時期)の平均年齢は76.7歳【農技C】

●都市団地の「2015年危機」～「団塊世代」65歳以上



●地元の定住戦略を創る！（小学校区・公民館区）



●必要ターン組数の集約～島根県中山間地域全体
→3世代×542組、3,794人の人口還流増で定常化実現

首都圏人口
3,562万人の
1万分の1

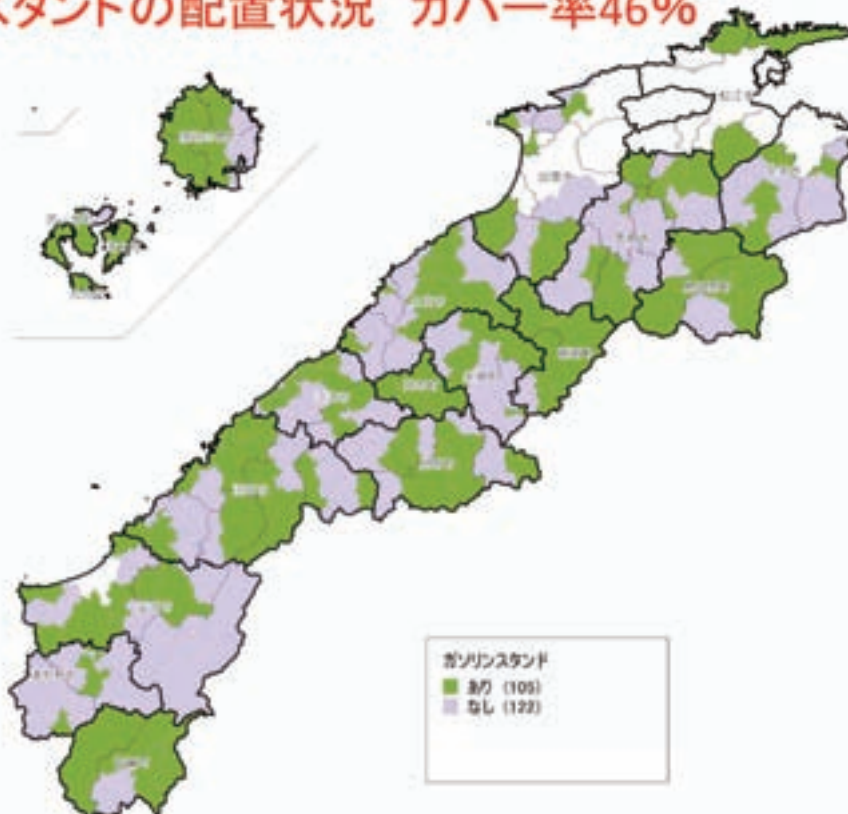
各エリア(平均人口1,370人)
当たり各2.4組の
●20代前半男女
●30代前半子連れ夫婦
●60代前半夫婦
のターン増加で
●高齢化率低下
●子供数安定
●人口下げ止まり
が実現



必要子連れターン数
組



●分野縦割りの仕組みでは拠点が消えていく
→ガソリンスタンドの配置状況 カバー率46%



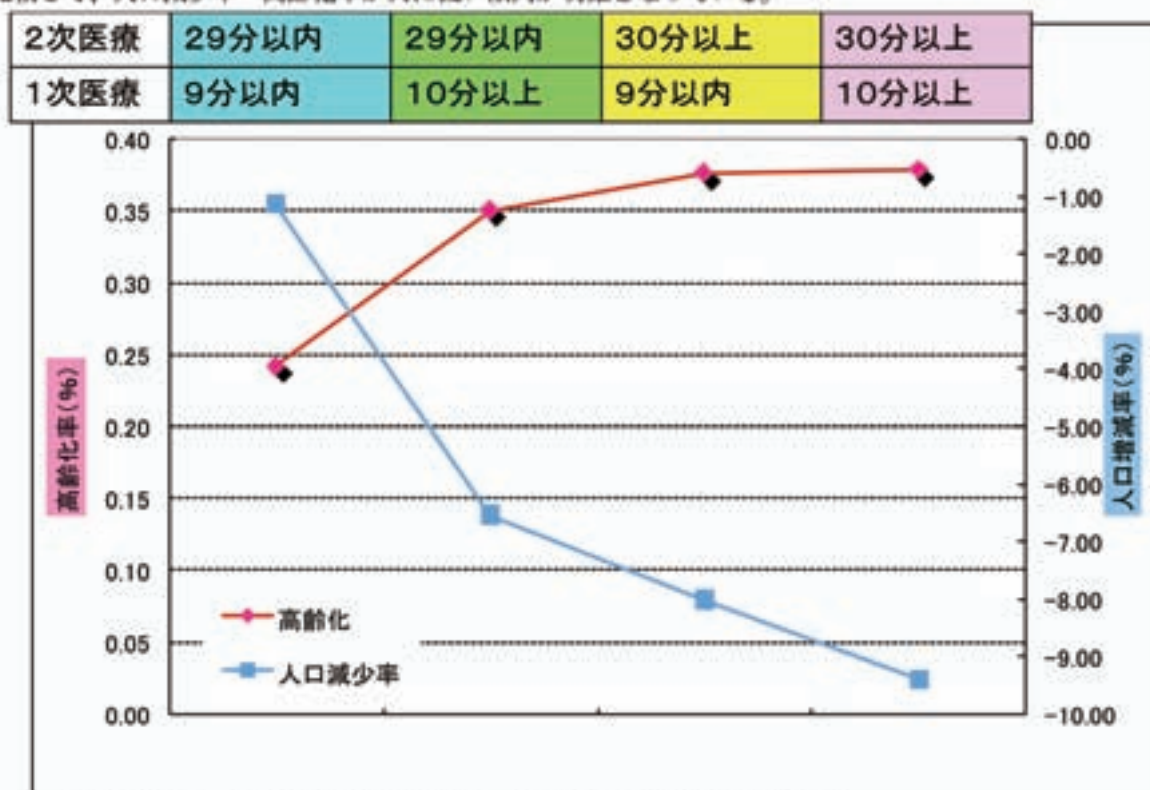
ガソリンスタンド
あり (109)
なし (122)

●各分野の生活拠点の配置状況分析事例(三次市、2007年)



●定住促進には、高次拠点だけでなく、近くの基礎的な生活拠点も同時に重要

8市町全体の集計では、2次医療機関から29分以内かつ1次医療機関から9分以内の類型においては、他の類型と比較して、人口減少率・高齢化率が共に低い傾向が明確となっている。



* 大字町丁目ごとに到達時間を算出し、集計(データ秘匿地域を除く)

●住民主動の「合わせ技」で拠点を守る～四万十市「(株)大宮産業」



ガソリンスタンド
売店
肥料、苗販売
地元米販売
そして「たまり場」
を複合経営



愛媛県との県境に位置する高知県旧西土佐村(現 四万十市)の大宮地区。四万十川の支流である目黒川に沿って家屋が点在する山間の集落だ。現在の人口は135戸301人、稲作を主にした農業が営まれている。この集落のほぼ中心に建つのが、小さなガソリンスタンドが併設された「(株)大宮産業」。住民の出資によって設立された共同売店である。

<写真も含めて出典 http://www.jimototaberu.net/report/15_01.html>

高知県

集落活動センターによる集落維持の仕組み 平成24年度～ ～集落活動を支える拠点づくり～

平成23年度に実施した集落実地調査の結果から

課題
集落活動 ▶ 高齢化、人口減少による集落活動の担い手不足
生活 ▶ 生活用品の確保や健康面での不安
産業 ▶ 農林水産業を担う将来の人材不足、野生鳥獣による被害

思い
集落活動や伝統行事等を近隣の集落と一緒にやっている・今後行いたい

94.2%

93.0%

76.7%

地域住民の思いを大切にしながら、地域が抱える課題を解決する手段

地域住民が主体となって、旧小学校や集会所等を拠点に、地域外の人材等を活用しながら、近隣の集落との連携を図り、生活、福祉、産業、防災などの活動について、それぞれの地域の課題やニーズに応じて総合的に地域ぐるみで取り組む仕組み



●中山間地域の小規模・分散性を束ね、活かす「郷の駅」構想

村にひと・もの・情報の
「結節機能」としての
中心広場をつくる！！



●昨年から国土政策局で「集落地域における小さな拠点検討会」スタート
(今年度から喬木村でも取り組み)

手打ちパスタ



伝統チーズ



イタリア山村の豊かな生業

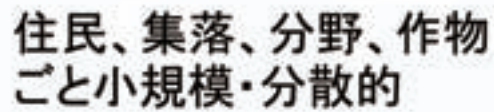


建具も地元の職人が

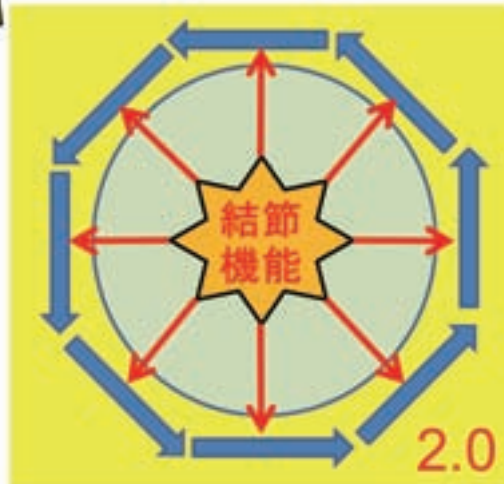


薪の活用

●地域内外をつなぐ「地域マネジメント法人」と「郷の駅」を整備



→重要な結節機能
(つなぐ人・組織・拠点)



地元の循環を取り戻す「つながり」の再生

* 近隣で複合的なネットワーク

「循環の経済」

地元循環圏 の再構築

弥荣=「郷」

浜田=地方都市
(二次生活圈)

*** 団地等
パート
ナーエ
リア**

郷還り
=人口還流

集落

＜從來＞

大都市

地球
温暖化

大規模
災害

輸出

輸入

「規模の経済」

海外・大都市からの非再生エネルギー、食料、工業製品の
大量流入＋中山間地域の条件不利(小規模・分散性)

小規模・分散的な再生可能資源

政策の基本方針 4：中山間地域を活かす流域モデルの形成

①「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進

地域環境の持続性を確保するために、流域圏の「健全な水・物質循環」の視点から、水資源確保、水質改善、物質循環のメカニズム解明を進めながら、複数のプロジェクトを共同化することで関係機関の相互調整を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 「健全な水循環」に係る産・学・官・民による情報共有・情報交換ができる場づくりを進めます。
- ・ 産・学・官・民が参加し、県境を越えた「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトを推進します（遠州灘海岸の侵食防止、天竜川ダム再編事業、設楽ダム建設事業、浜名湖・三河湾の水質浄化活動、住民参加型の水質浄化に関する行動計画づくり等）。

【推進主体とその活動】

- ・ 国、県の協力の下に、市町村が中心となって活動促進を働きかけます。

② 上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備

下流域都市住民の中山間地域への居住に対する関心を喚起することで、上流域への人口流入を図るとともに、流域圏の多様性を活用することによって三遠南信地域の定住の魅力を増大させます。このために、上流域と下流域の自治体が連携して流域定住の検討体制を構築します。

【活動イメージ】

- ・ 受け入れ地区住民の意識調査等を行い、空き家、貸し家、遊休施設等の施設利用情報のデータベース化に取り組みます。
- ・ 流域定住や二地域居住を進めるための総合的な相談窓口の設置、居住体験が行える施設の整備、生活に関連した情報を円滑に提供できる仕組みづくりを進めます。
- ・ 長期滞在者向けの旅館利用や滞在施設（廃校、旧役場、空き家等）の整備を検討します。
- ・ 空き家、貸し家、遊休施設等の仲介を不動産会社等の民間企業に働きかけます。
- ・ 耕作放棄地や遊休施設に関心を持つ企業への施設・用地紹介や情報提供に取り組みます。
- ・ 遊休施設を社員保養施設として利用したい企業への支援を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 上下流域自治体による検討体制を設けます。

政策の基本方針 5：広域連携による安全・安心な地域の形成

① 医療分野の県境を越える連携の促進

住民生活の安心を確保するために、最も基本となる地域医療体制を、県境を越えて整備します。

【活動イメージ】

- ・ 公立病院を中心とした医療施設の広域利用を進めます。
- ・ 医科大学と三遠南信地域自治体との連携を促進します。
- ・ 県境近接地域で、休日診療、夜間診療の連携が取れていないため、隣接県の医療施設の情報発信、医療施設利用の連携を進めます。
- ・ ドクターヘリの県境を越えた活動を支えるため、中山間地域での中継基地（燃料補給等）設置を検討します。
- ・ 情報通信技術を活用した遠隔地医療診断を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体が中心となって、具体的な検討、関係機関への働きかけを進めます。

② 三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進

三遠南信地域住民に対する行政サービスの向上と施設の有効活用を図るために、公共施設情報の連携や公共施設の広域的な利用を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 公共施設の県境を越えた利用を促進するポータルサイトの構築を検討します。
- ・ 公共施設の三遠南信地域内住民に対する利用制限を撤廃するとともに、自地域住民並の利用料金の設定を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体が中心となって、事業を推進します。

③ 県境を越える防災体制の強化

東海地震等の大規模災害が想定されることから、地域住民の生命、身体、財産等を災害から守るために、防災に関する関係機関の相互協力を、県境を越えて取り組みます。

【活動イメージ】

- ・ 地域の防災力の向上のため、自主防災組織の充実・連携に取り組みます。
- ・ 「三遠南信災害時相互応援協定」において、災害廃棄物の相互処理など、必要な項目の追加を検討します。
- ・ 広域防災拠点の相互連携を強化するため、港湾機能、道路機能（防災道路、緊急輸送路等）の充実を図ります。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体を中心となって、自主防災組織や自治会等と協力して事業内容を検討します

三遠南信地域連携ビジョン 概要版

三遠南信地域連携ビジョン概要版

—世界につながる日本の中央回廊— 三遠南信**250**万流域都市圏の創造

三遠南信地域は、愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、長野県南信州地域からなる3県の県境地域です。人口230万人、豊かな経済資源や多様な自然環境、特色ある歴史・文化は、都道府県にも匹敵する大きなポテンシャルを有しています。近年、市町村合併や広域交通ネットワークの整備による地域構造の変化、また、道州制や国土形成計画など国の地域づくり制度の検討が進められる中、地域住民をはじめ、大学、経済界、行政など圏域の発展を願う様々な関係者が力を合わせ、「三遠南信地域連携ビジョン」を策定しました。

「三遠南信 250 万流域都市圏の創造—世界につながる日本の中央回廊—」をテーマとし、三遠南信に対する思いと活動のベクトルを一致させることにより、相乗効果を発揮し、地域の振興発展を加速させていくことを期待しています。圏域の皆様には、「三遠南信地域連携ビジョン」にご理解をいただきますとともに、ビジョン推進に積極的なご参加をお願い申し上げます。

■ 三遠南信地域連携ビジョンを策定するに当たって以下の5つの目的があります。

- 道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
- 経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
- 市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
- 地域連携活動の相乗効果の発揮
- 県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

■ 目標期間

三遠南信地域連携ビジョンの目標期間は、**概ね 10 年間**とし、三遠南信地域の目指すべき将来像と連携事業の方針を定めます。

■ 策定体制

○三遠南信サミット

三遠南信地域の市町村長や議会、経済団体の代表、地域住民、国、県の関係機関などが一堂に集まり、平成5年度から毎年1回、地域の一体的な振興発展のために議論しています。この場で三遠南信地域連携ビジョンを審議し、決定しました。

○三遠南信地域連携ビジョン検討委員会

三遠南信サミットから委嘱を受けた地域住民や大学、経済界、行政の代表で組織し、オブザーバーである国、県の意見を反映しながら、検討案を策定し、三遠南信サミットへ提案しました。

○幹事会

三遠南信地域の行政、経済界、国、県の実務者レベルで組織し、検討委員会の審議に向け、関係間で調整しました。

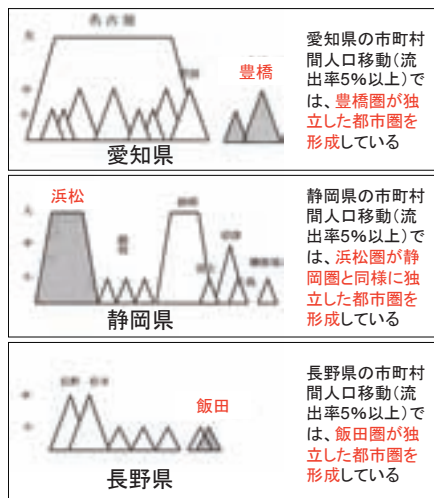
■ 三遠南信地域のポテンシャル

○都道府県に匹敵する経済規模

指標	順位	県名	規模	全国シェア(%)
事業所数※	17位	宮城県	107,565 事業所	1.8
		三遠南信	105,875 事業所	1.8
製造品出荷額等	18位	群馬県	101,876 億円	1.7
	5位	埼玉県	138,021 億円	4.9
年間商品販売額	6位	兵庫県	134,778 億円	4.7
	17位	群馬県	60,455 億円	1.1
農業産出額		三遠南信	58,822 億円	1.1
	18位	栃木県	54,723 億円	1.0
	6位	愛知県	3,108 億円	3.6
	7位	熊本県	2,984 億円	3.5

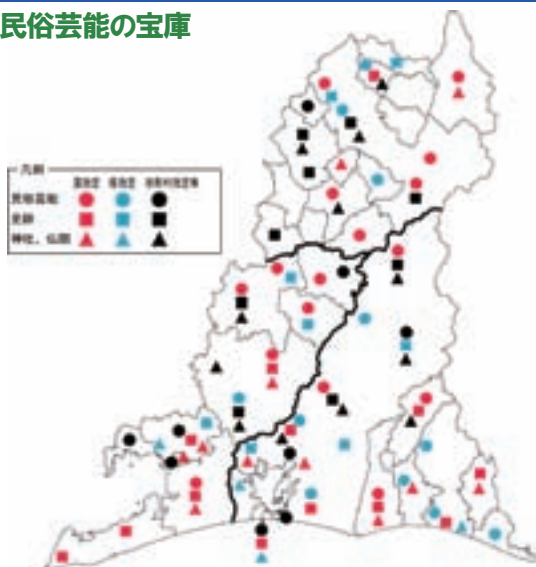
※事業所数は事業内容等不詳事業所を含む

○自立的な人口 230 万人の圏域

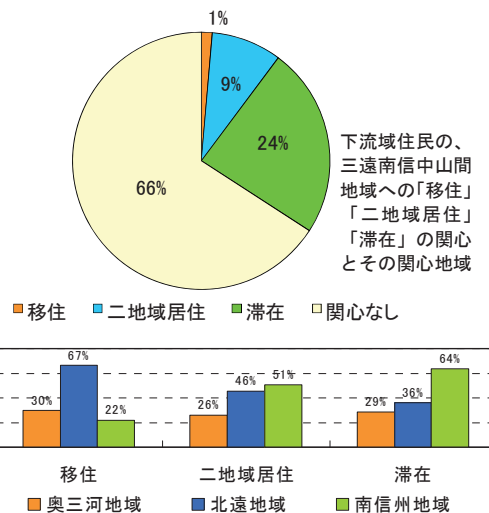


大：都市圏人口が100万人以上、核都市は50万人以上
中：都市圏人口が50万人以上、核都市は20万人以上
小：都市圏人口が10万人以上、核都市は5万人以上

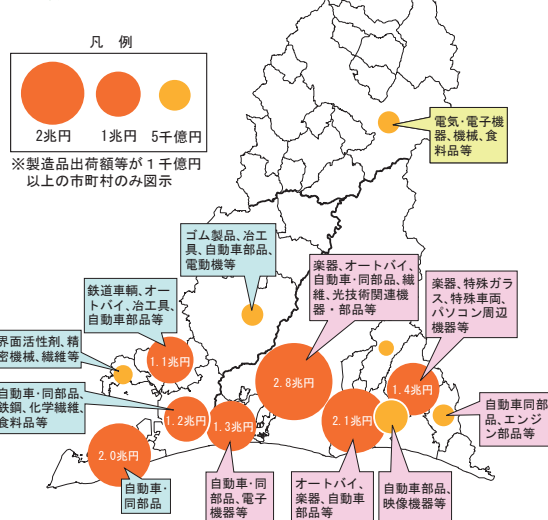
○民俗芸能の宝庫



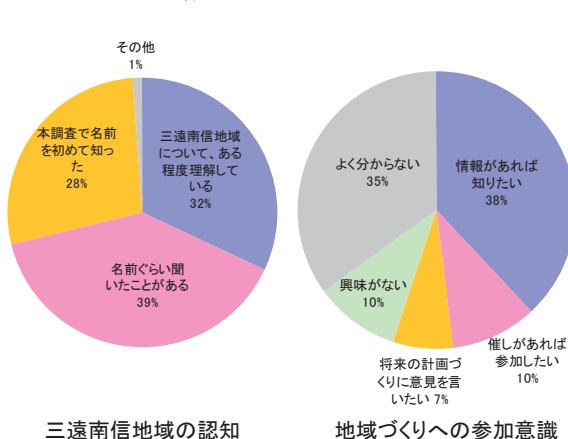
○下流域から上流域への定住指向の高まり



○特徴あるものづくり産業の集積



○三遠南信地域への高い関心



■ ポテンシャルから導き出される 5 つの課題

三遠南信地域のポテンシャルから、地域連携ビジョンを策定する上での課題として、次の 5 点を挙げます。

- 中部圏における「**自立した世界的都市圏**」としての機能強化
- グローバル化や産業構造に変化に対応した「**国際的な産業競争力**」の強化
- 自然や歴史に育まれた地域文化を活かした「**地域アイデンティティ**」の確立
- 天竜川・豊川流域圏において自然資源、人的資源、産業資源など補完と連携による「**流域循環圏**」の構築
- 道州制を見据えた「**県境を越える広域的な地域連携政策機能**」の構築

■ 三遠南信地域連携ビジョンのテーマ

三遠南信 250 万流域都市圏の創造 ―世界につながる日本の中央回廊―



■ 目指すべき地域像

① 日本の中央回廊の形成

太平洋側と日本海側の両地域を東西日本の中心で結びます。



② 大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成

伊勢湾を中心に産業や文化等の多様なネットワークを構築します。



③ 流域循環圏の形成

上下流域が環境や経済をはじめ、広範な分野で有機的にネットワークする「流域循環圏」を構築します。



■ ゾーニング

三遠南信地域を東名高速道路、第二東名高速道路などを境界として、3つのエリアにゾーニングし、整備方針を掲げます。

①既存集積ゾーン

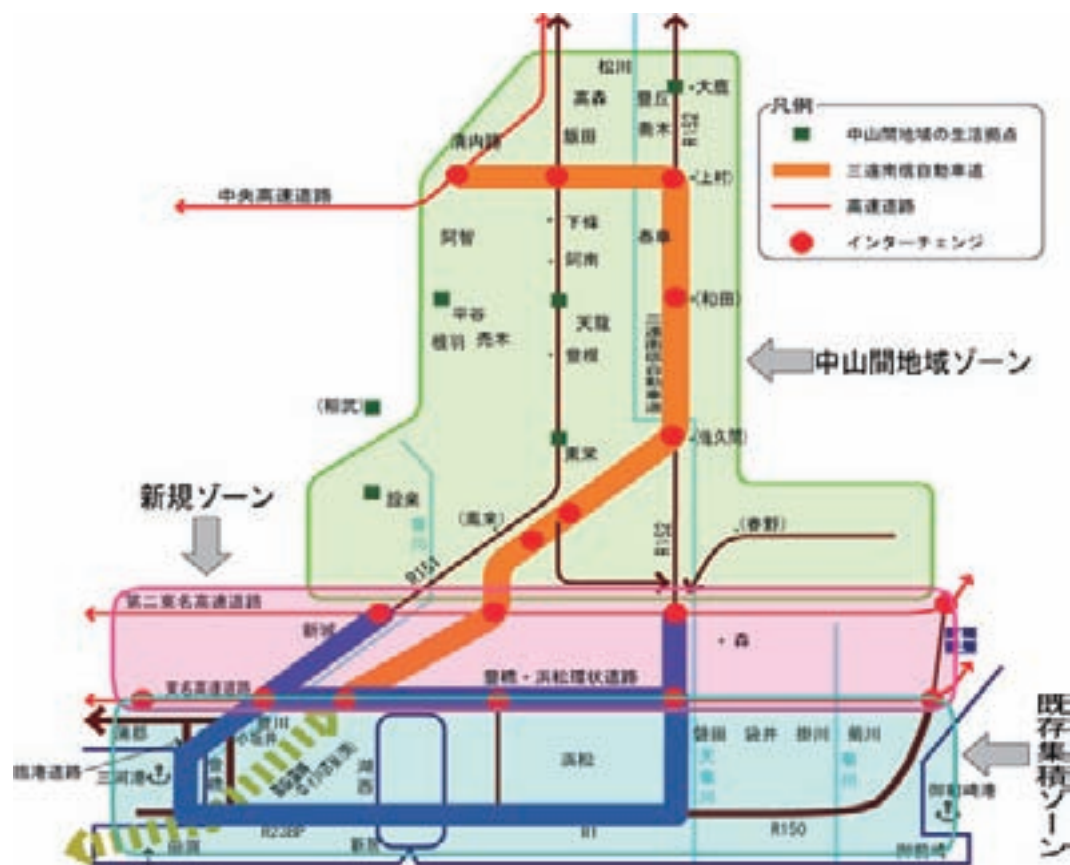
三遠南信地域南部の JR 東海道線、東名高速道路に沿った地域は、特色をもった都市が連続しており、高度な都市機能が集積しています。広域幹線道路として、東名高速道路や国道1号の東西幹線が地域を貫き、圏域の東西には三河港や御前崎港の国際港湾を擁しています。政令指定都市・浜松と中核市・豊橋とを広域交通網や情報網でより緊密に結びつけ、圏域の核として一体的な経済・文化圏を形成することにより、圏域全体の発展を牽引します。

②新規ゾーン

東名高速道路と第二東名高速道路に挟まれた地域で、住居系の郊外市街地と都市近郊農業地帯が混在する地域です。今後は、第二東名高速道路の開通に伴い、インターチェンジ周辺等への新たな産業集積が期待されます。浜名湖や地域の森林などの自然環境との調和を保ちつつ、バランスのとれた土地利用が必要です。

③中山間地域ゾーン

圏域北部の中山間地域は、過疎化・高齢化が進んでいる地域です。優れた自然環境の保全を基調とし、ライフスタイルの多様化に対応した交流人口の拡大を進めます。三遠南信自動車道の整備により、特色ある地域資源を活かすとともに、新規ゾーンや既存集積ゾーンとの活発な交流による地域振興が必要です。



■ 三遠南信地域連携ビジョンの5つの基本方針と重点プロジェクト

三遠南信地域の目指すべき地域像を踏まえたテーマを達成していくため、5つの政策の基本方針を設けて積極的に推進します。

○連携事業の政策体系

テーマ	政策の基本方針	推進方針	主要施策
三遠南信二五〇万流域都市圏の創造 ―世界につながる日本の中央回廊―	中部圏の中核となる地域基盤の形成	人とのものの流動促進	三遠南信地域のゲートウェイの基盤整備 高原新定住圏の基盤整備 県境を越える三遠都市帯の基盤整備
		情報の流動促進	中山間地域の情報基盤整備 県境を越える情報共有化の推進
	持続発展的な産業集積の形成	既存産業の活力増進	人材・労働力の確保・育成 広域的な産業連携活動の推進 未利用資源の広域的な連携による有効活用の推進
		新規産業の創造と特徴ある産業クラスターの形成	特徴ある産業クラスターの形成 コミュニティ・ビジネスの育成 県境を越える大学・研究機関連携組織の形成
	塩の道エコミュージアムの形成	塩の道エコミュージアムによる文化の発信	歴史・文化資源の保全と風土記ネットワークづくり ものづくり文化の啓発と産業観光ネットワークづくり 多様な自然資源の保全とやすらぎのネットワークづくり
		エコミュージアムのプラットフォームづくり	エコミュージアムのプラットフォームづくり エコミュージアムの担い手づくり 三遠南信地域ファンづくり
	中山間地域を活かす流域モデルの形成	自然資源の循環モデルの形成	健全な水・物質循環を目指した環境保全活動の推進 森林資源の有効活用 新エネルギー導入の推進
		流域定住推進モデルの形成	流域定住推進体制の整備 中山間地域での居住環境の確保
	広域連携による安全・安心な地域の形成	生活環境の維持と質的向上	医療・福祉の連携 教育の連携 公共施設利用の柔軟性確保
		多文化共生の基盤づくり	多文化共生の基盤づくり
		広域的な防災体制の充実化	広域的な防災体制の充実化

○重点プロジェクト

1 中部圏の中核となる地域基盤の形成

- ① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現
- ② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実
- ③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置
- ④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進
- ⑤ 県境を越えるマスコミの連携

2 持続発展的な産業集積の形成

- ① 三遠南信ビジネスマッチングの促進
- ② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進
- ③ 特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携
- ④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

3 塩の道エコミュージアムの形成

- ① 「塩の道」風景街道の体制づくり
- ② 地域資源を活かす鉄道の有効活用
- ③ 海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進
- ④ 三遠南信アンテナショップの開設

4 中山間地域を活かす流域モデルの形成

- ① 「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進
- ② 上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備

5 広域連携による安全・安心な地域の形成

- ① 医療分野の県境を越える連携の促進
- ② 三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進
- ③ 県境を越える防災体制の強化

■ 推進体制

○三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA セナ)の設置

- ・ 平成20年度に「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」を設置します
- ・ 地域住民、大学、経済界、行政の代表者により組織します

○三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA セナ)の役割

- ・ 重点プロジェクトを推進します
- ・ 重点プロジェクトの評価・見直しを行います
- ・ 道州制等の国の動きに対する働きかけを行います
- ・ NPO法人や企業等が取り組む連携活動に対する支援を行います

○新連携組織への移行

- ・ 平成24年に、三遠南信地域連携ビジョンに基づいた連携事業を行うため、恒常的な新・連携組織を設置します



